

## (7) 病弱養護学校(小学部)

(様式1)

## フェイスシート

(作成日:平成17年 月 日 学年:小学部6年)

## ● 氏名・住所等

本人	ふりがな	やまもと じろう	性別	生年月日	平成 5年 9月 1日生
	氏名	山本 二郎	男	電話番号(自宅)	- -
	住所(自宅)	〒 000 - 0000 市.....			
	入所施設 医療機関	無 ・ (有) 病院			
	主障害	病弱	他の障害	なし	
	診断名	心臓疾患(原発性肺高血圧症)	療育手帳	( . . 交付)	
	身障手帳	1種 2級(H8. 4. 1 交付)	精神障害者 保健福祉手帳	( . . 交付)	
保護者	氏名	山本 五郎	緊急連絡先	自宅 携帯 (祖父)	- - -
	住所	〒 000 - 0000 市.....			
家族構成	家族構成図		氏名	生年・学年	続柄
	<p>(出生地 札幌市)</p>		山本 太郎	S10(別居)	祖父
			山本 花代	S12(別居)	祖母
			山本 五郎	S38	父
			山本 花子	S40	母
			山本 一郎	高1	兄
			山本 二郎	小6(本校)	本人(次男)
在籍校	学校名	北海道 養護学校	担当教諭		
	住所	〒000 - 0000 市.....	電話番号	TEL FAX	- -
			寄宿舎入舎	有 ・ (無)	

● 妊娠・出産・発育の様子

胎 生 期	妊娠中の母親の健康状態 : 良・他 妊娠中の病気等 : 無・有(病名) 薬の服用状況 : 無・有			・ 妊娠期に気になったこと  特になし	
出 生 期	妊娠期間	41週	出生体重	3200g	・ 医師の診断や出産時に気になったこと  出生3日後、心臓に疾患があることがわかった。
	分娩	普通・逆子・鉗子・吸引・帝王切開・他			
	様子	普通・衰弱・仮死・双子・臍帯てん絡・他			
	泣き方	<small>アプガースコア</small> 良好・他 (A P S)			
	黄疸	普通・ <b>軽</b> ・重	保育器使用	無・有(90日)	
乳 幼 児 期	首の座り (8か月)                      はいはい (1歳) 一人歩き (1歳4か月)                人見知り (2歳) 指差し (1歳6か月)                  片言を言う (1歳2か月) おしっこやうんちを予告する (1歳10か月) 一人でおしっこ(2歳月)・うんち(3歳月) トレーナーなどの簡単な服を一人で着替える(2歳2か月)			・ 乳児期、幼児期に気になったこと  病院にて入院治療を受ける。	

● 療育・教育の状況

幼児期	病院	・ 備考(就学の場の変更等)  H17.4、本校(中学部)への進学を希望
小学校	北海道 養護学校	
中学校		
高校		

● 医療にかかわる特記事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主治医より、日常生活での生活規制は特にないが、中程度の運動は禁止との指示が出ており、教室内の歩行程度は可能である。</li> <li>・ 通常は車いすを使用しており、車いすには常に酸素ボンベを搭載している。</li> </ul>
---

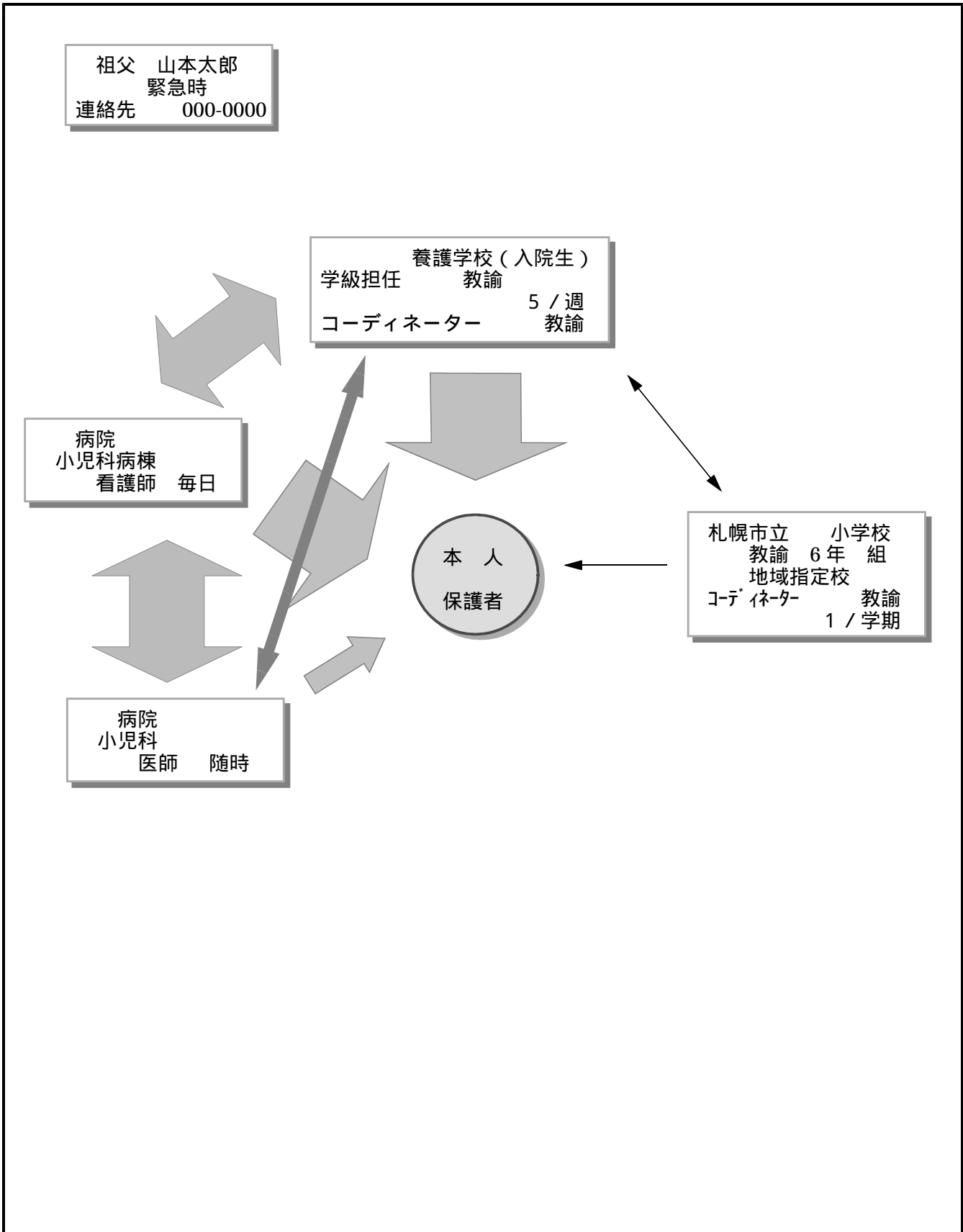
● 特記すべき生育歴及びその他の事項

特になし
------

## ● 特徴

得意なこと、好きなこと、興味・関心の強いこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵をかくことや、オルガンやギター等楽器の演奏が好きである。</li> <li>・ 下級生の面倒みがよい。</li> </ul>
苦手なこと、嫌いなこと、避けなければならないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りの整理整頓が苦手で、忘れ物をすることがある。</li> <li>・ 病棟では中学・高校生との交流が活発であるが、長期の入院のため、仲のよい友達が退院すると気を落としがちである。</li> <li>・ 約10m程度（教室からトイレまで）以上歩かせてはいけない。</li> </ul>
身辺処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りの処理はできるが、整理整頓に課題がある。</li> </ul>
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年相応の学力を身に付けている。算数は課題を理解するのに時間はかかるが、機械的な計算は得意である。</li> <li>・ 総合的な学習の時間において、興味のある課題を見つけ出したり、アイデアや取り組み方を提案するなど、学級や学部を中心となって積極的に学習している。</li> </ul>
健康の保持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の病状や体調を考えた行動や生活ができる。</li> <li>・ 自分の病気を理解し、激しい運動や長距離の移動については本人から車いすの使用を申し出ている。</li> </ul>
心理的な安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院生活が長いことから、年に一、二度病室の人との葛藤や精神的に不安定になることがあるが、回復は早い。</li> <li>・ 学年の進行とともに退院者が出た際の精神的な落ち込みは少なく、弱くなってきているが、配慮は必要である。</li> </ul>
環境の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院生活が長いことから、病棟や学校における生活経験を生かし、下級生や新しい入院生に対してやさしく接しており、面倒みがよい。</li> </ul>
身体の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常は車いすを使用しており、車いすには常に酸素ポンペを搭載している。</li> </ul>
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に支障はない。</li> </ul>

● 支援マップ



【凡例】

- : 支援や連携の方向性を表す。
- ➡ : 支援や連携の強さを線の太さで表す

【補足】

(様式2)

# 週間生活スケジュール

氏名(山本二郎)

時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日
:						(自宅)	(自宅)
6:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
8:00	学校	学校	学校	学校	学校		
10:00	↓	↓	↓	↓	↓		
11:30	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟		
12:00	↓	↓	↓	↓	↓		
12:50	学校	学校	学校	学校	学校		
14:00	↓	↓	↓	↓	↓		病棟へ戻る
	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟		
16:00					自宅へ帰る		
18:00							
20:00	↓	↓	↓	↓	↓		↓
	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
22:00							
24:00							
:							

週・月・年単位など  
定期的なスケジュール

- ・ 週末(金曜日)には、主治医から「外泊許可」をとり、母親とともに帰宅する。日曜日の夕方に病棟へ戻る。
- ・ 夏季・冬季の長期休業中も基本的には週末の外泊であるが、家庭の希望により長期外泊が認められる場合がある。

その他

- ・ 車いすは病院や学校にある一般的なものを使用しているため、現時点では特注などは考えていない。また、本児は車いすの操作ができるので、現時点では、外出時などにボランティアの活用などは必要ない状況である。

(様式3)

# 個別の教育支援計画

氏名	山本 二郎	性別	男	学校名	北海道 養護学校
作成者	担任	作成日	平成 年 月 日 ( . . 修正)		

## ● 本人・保護者の希望

	現在の希望	将来の希望
本人	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 苦手な算数の勉強を頑張りたい。</li><li>・ 帰宅(外泊)した時に、お母さんのお手伝いをしたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 中学校は 養護で頑張り、高校は地域の車いすでも行ける学校に進んでみたい。</li></ul>
保護者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 病棟で今のまま友達と仲良く生活してほしい。</li><li>・ 学校での勉強を今のまま頑張してほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本人の希望を尊重したいが、中学は 養護学校で学び、その後可能であれば地域の高校で勉強させて、将来の自立につなげるようにしたい。</li></ul>

## ● 課題の設定の理由

下級生や新しく入院してきた児童に対して面倒見がよく、仲間から慕われている。また、中学生や高校生とも仲良く接しながら入院生活を送っている。反面、入院生活が長いため、友達が退院するたびに精神的に不安定になったり、同室の人との葛藤から学校生活でも十分に力を発揮できなくなったりすることがあるが、このような傾向については、学年の進行とともに軽減してきている。本児童は少しずつ将来について考えるようになってきたので、将来の生活について考えさせるとともに、本児童自身の身の回りの処理に確実に取り組ませて、自信をつけさせることが必要である。

また、心臓疾患の理解を一層深めるとともに、自ら興味のある活動を考え、余暇活動に進んで取り組ませるなどしながら、入院生活に張りを持たせ、将来に向けて自信をもち力強く歩むめるようにすることが大切と考える。

以上のことから、以下の課題を設定する。

● 課題・支援の目標

	課 題	支 援 の 目 標 ( 長 期 )
	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの整理整頓が苦手なことや、必要なものを忘れていたりすることがあるため、基本的な生活習慣を確立させることが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と病棟看護師が連携を図り、学習の仕方や日常生活を見直し、身の回りの整理整頓を確実にを行い、忘れ物をなくす。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>病気へのより深い理解を図るとともに、放課後に興味のあることにチャレンジさせ、入院生活を楽しく有意義なものにする中で、将来への展望について話し合い考えさせていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と病棟が連携し、放課後に楽器やパソコン等本人の興味のあるものに挑戦させながら、病気との付き合い方をより深く学ばせていく。</li> <li>学校と病棟看護師が情報交流を図りながら、本人と話し合う時間を設けて、高校進学や将来の夢や仕事等について考えさせる。</li> </ul>
	評 価	

● 支援内容・機関等

支援の目標(短期)	支援内容	支援機関・連絡先	評価時期	評価
<p>身の回りの整理に注意を払うとともに、忘れ物をなくす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習予定表やメモ帳を活用して意識を高める。</li> </ul>	<p>養護学校 担当 ☎000-000-0000</p>	<p>各学期末 <i>H17.2.28</i></p>	<p>1、2学期と忘れ物が減っている。 ほぼ自立して行動できている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人への意識を高める声掛けを行い、徐々に声掛けの頻度を少なくしていく。</li> </ul>	<p>病院小児科病棟 担当 看護師他 ☎内線000、000</p>	<p>各学期末 <i>H17.2.28</i></p>	<p>声掛けをされる前に自分でやっている。 声掛けを必要としなくなっている。</p>
<p>放課後、病棟で、楽器やパソコンなど、興味のあるものに挑戦する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギターや笛、パソコンなど本人の興味に応じて挑戦させる。</li> </ul>	<p>養護学校 担当 ☎000-000-0000</p>	<p>各学期末 <i>H17.2.28</i></p>	<p>1学期はギター、2学期は紙漉きに挑戦中。 興味のあるものに集中して取り組める。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>挑戦の内容や取り組みを励ますとともに、病気の理解を深めたり将来について話し合う。</li> </ul>	<p>病院 担当 医師や小児科病棟 看護師他 ☎内線000、000</p>	<p>各学期末 <i>H17.2.28</i></p>	<p>生き生きとした生活ぶりがみえる。 中学生になっても継続してほしい。</p>



● 支援者(機関)の連携

項目(会議等)	連携機関(担当者)	内 容	備 考
期 日	コーディネーター		
DNT会	学校担任等、病棟看護師他	<ul style="list-style-type: none"> <li>本児を含め、入院生の学校や病棟での生活の様子について、情報交流を行う。</li> </ul>	日常の情報交流については、随時行う。 H17.2.28評価実施。
毎月定例	療育連絡員		
主治医との打合せ	病院 医師	<ul style="list-style-type: none"> <li>病状の確認とともに、放課後を活用して興味のあることに挑戦させる取組を行うことについての話し合い。</li> <li>医師より了解を得る。</li> </ul>	
H17.4.00	教諭		
個別の教育支援計画策定会議	保護者、担任、病棟看護師、(主治医)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の教育支援計画について支援内容及び評価時期等の確認。</li> <li>学校における支援に関する事項については、個別の指導計画において具体化する。</li> </ul>	二学期の個人懇談及び学年末に評価を行うことを確認する。
H17.4.23	コーディネーター		
入院費及び酸素ボンベ使用料について	病院会計課 経理係長	<ul style="list-style-type: none"> <li>車いす及び酸素ボンベ使用料等の費用や割引について確認する。</li> </ul>	中学部への引継ぎまでにわかったことを記入し記録しておく。また、添付資料がある場合はそれも引き継ぐ。
H17.5.00	教諭		
支援費や福祉サイドの支援について	市区役所福祉課障害福祉係	<ul style="list-style-type: none"> <li>心臓疾患があり車いすや酸素ボンベを使用している人への福祉サイドの支援全般について確認する。</li> </ul>	
H17.6.00	コーディネーター 教諭		

(様式4)

# 相談・支援の記録

氏名( 山 本 二 郎 )

項 目	時期・期間	内 容 ・ 結 果	担 当
相談・支援機関等			
心臓疾患について 病院心臓外科 出生～H11. 病院小児科 H11.～現在	出生～現在	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 出生とともに発病。</li><li>・ 心臓疾患のため激しい運動は禁止。</li><li>・ 車いすを使用し、身近に酸素ポンペを携帯している。</li></ul>	主治医
身障手帳の交付 市児童相談所	平成8年4月	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 身体障害者手帳交付申請相談及び手続(1種2級)</li><li>・ 福祉制度相談、支給申請手続</li></ul>	福祉係長
就学相談 教育センター	平成10年	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 就学に当たり手術の必要性や体力の面等から、主治医より病室への訪問教育を勧められ、相談を行い、現状では本人にとって最適と助言を受ける。</li></ul>	センター員
就学相談 市教育委員会	平成10年	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 同 上</li><li>・ 手続を行う。</li></ul>	市教委
転学相談 市教育委員会	平成12年	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院の主治医より手術後の経過及び体力等から 病院への転院と 養護学校への転学を勧められ、委員会に相談し、手続を行う。</li></ul>	市教委

\* 相談・支援機関等：相談、治療、訓練、診断、生活支援等の機関などの活用歴